

大和 竹史

期別：後期 単位数：2 開講年次 3

- - - 講義の概要（目的と内容） - - -

- - - 授業計画 - - -

技術者とは、学習や実務経験を通して身に付けた知識を応用して、行為の善悪、正不正に正しい判断を下しながら、人類の利益のために自然の力を経済的に活用する方法を見出す知的専門家と言える。

この科目では、技術者倫理に関する基礎的知識を学んだ上で、実践的な倫理能力を身に付けるために、外国および日本の事例を調査・考察させるケース・スタディに重点を置く。

- - - 受講生が達成すべき到達目標 - - -

倫理学やその応用に関する知識を基に、技術の実践に関する倫理的事例を分析し、倫理的な考察を行い、問題解決策を提案し、理性的で論理的な判断を自ら下すことができるようになる。

チャレンジャー爆発事故、ギルベインゴールド等について学び、考察を説明できるようになること。

土木学会の倫理規定について学び、説明できるようになること。（学習・教育目標のBに該当）

- - - 成績評価の基準および方法 - - -

評価方法および割合

成績評価は、各自のレポート（20%）、グループ発表（10%）、および定期試験（70%）を目安として総合的に評価する。

評価基準

各自の事例の研究およびグループで行った事例研究でしっかり考察ができているかを評価する。また、定期試験では、「到達目標」欄に記述した内容について問う。

- - - 教科書 - - -

教科書は使用しない。主に、放送大学のDVD教材「技術者倫理」（札野順）を使用する。必要に応じてプリントを配布する。

- - - 参考書 - - -

土木教育委員会倫理教育小委員会編、「土木技術者の倫理」- 事例分析を中心として-（2002、土木学会） ISBN ISBN978-4-8106-0449-8

中村収三「実践的工学倫理」 みじかく、やさしく、役にたつ（2003、化学同人） ISBN ISBN978-4-7598-0931-2

佐伯 昇/松本泰治編著「技術倫理-日本の事例から学ぶ」（2006、丸善） ISBN ISBN978-4-621-07751-1

- - - オフィスアワー - - -

FUポータルズのオフィスアワーを参照のこと。

1. ガイダンス（授業計画と達成目標）、技術者倫理とは何か

2. ビデオ「検証・チャレンジャー爆発事故」前編の上映

3. ビデオ「検証・チャレンジャー爆発事故」後編の上映

4. 技術者が意思決定を迫られる状況とは(1)（チャレンジャー爆発事故を事例として）

5. 技術者が意思決定を迫られる状況とは(2)（チャレンジャー爆発事故を事例として）

6. なぜ今、技術者倫理か(1)

7. なぜ今、技術者倫理か(2)

8. 技術者としていかに行動すべきか(1)

9. 技術者としていかに行動すべきか(2)

10. 技術者としていかに行動すべきか(3)

11. 優れた意思決定がもたらすもの

12. 組織の中の技術者(1)-事例分析「ギルベイン・ゴールド」

13. 組織の中の技術者(2)

14. 高度技術社会における技術者の新しい役割

15. 総括

放送大学DVD教材（技術者倫理：札野 順）を適宜、放映する。

初回から最終回まで、放送大学DVD教材（技術者倫理：札野 順）を適宜、放映する。

- - - 必修・選択の区分 - - -

建設デザインコースで必修
社会デザインコースで選択

- - - 事前・事後学習（予習・復習） - - -

日頃から技術者倫理に係わる報道に関心を持つとともに、毎回の課題により復習することが望ましい。